

平成24年度 第3回埼玉県立図書館協議会会議録

◇ 日 時 平成25年2月20日(水) 午後2時00分～午後3時40分

◇ 会 場 久喜総合文化会館 視聴覚ライブラリー室

◇ 出席者 (1) 出席委員  
佐々木公子委員 松田昌雄委員 久保田洋子委員  
松山妙子委員 佐藤淑恵委員 青木淳子委員  
小笠原清春委員 関口聡美委員 坂西友秀委員  
小谷野幸夫委員 村田三恵委員

(2) 図書館職員

【県立浦和図書館】

根岸館長 乙骨副館長 西島教育主幹 榎本主席司書主幹  
高橋司書主幹

【県立熊谷図書館】

杉田館長 千吉良副館長 橋本教育主幹

【県立久喜図書館】

渡邊館長 民本副館長 伊藤教育主幹 大久保主席司書主幹  
西村司書主幹 佐藤司書主幹 蓮見主任司書 吉山担当課長

◇ 会議次第

1 開 会 [久喜図書館 伊藤教育主幹]

2 あいさつ 久喜図書館 渡邊館長

3 平成24年度第2回会議録報告

4 会議の公開について議決

傍聴希望者なし

5 会議録署名委員の指名

会長が、佐々木委員と久保田委員を指名し、了承された。

6 議 事

(1) 「図書館と県民のつどい埼玉2012」の結果について(報告)

[浦和図書館 榎本主席司書主幹]

資料1の実施結果報告に基づき説明 (参考資料「図書館と県民のつどい埼玉2012」記録集あり)

【質疑】

委 員／私は、分科会1の「ブックトークって楽しい!」の講師をさせていただいたが、その分科会に参加している方だけでなく、午前中の講演にいらした方々も本当に熱心で、講演の内容も素晴らしく興味深く聴いていたのが印象的だった。会場もとても使いやすく明るくよい会場であったと思う。

会 長／私も少しだけ行かせてもらった。地元桶川市には、後援をいただいている

が、地元の図書館や周辺の図書館との実際の協力関係はどうなっているのか。

事務局／今年度は、広報に力を入れた。その一つとして、昨年と同様だが、「つどい」開催にあたって桶川市、桶川市教委の後援をとらせていただいた。また、地元の図書館には、パンフレットを置かせてもらい、近隣の図書館には、パンフレットとポスターの掲示をお願いし、地元の方になるべく来てもらえるよう努力した。

事務局／子ども読書活動交流集会を担当している関係で、地元の図書館等との実際の協力関係について追加説明させていただく。先ほど、分科会4では、親子で参加するような形もあったという報告を行った。この分科会では一般の講座形式の定員は30名となっているが、会場での参加者総数は43名である。これは、親子でわらべうたの実演をするため、桶川市内の図書館や、幼稚園・保育園等にチラシを入れて、参加したい方を募った。そういった施設に協力頂いて7組の親子が参加したことにより実数が43名になっている。地元との協力関係のもとに分科会4は開催された。

会長／毎年の積み重ねが大切であると思うので、もっとPRをお願いしたい。

委員／分科会1が「ブックトーク」で図書館に来る習慣をつけるという動機付けというテーマ、分科会2では、「オノマトペ」という日本語、分科会3では「かがく読み物」で科学、分科会4が、すごく特徴的でよいと思うが、「わらべうた」という家庭の中でできる教育。分科会1の「ブックトーク」という図書館に誘うことから分科会4の家庭教育の中で図書館に関連づけられるようなものまで、分科会のテーマが毎年できてくると、低年齢の子供や家にいる母親も含めて一緒に参加できる。子供の参加も増えていくと思う。そういったテーマでずっと進めていってもらえたらいい。昨今、どこかの県では、閲覧をなくすとか言われている。できるだけ図書館が身近な存在でかつ直接役に立って実学的な部分もあるということを知ってもらいたい。低年齢の子供から大人まで、広い意味で敷居を低くして図書館に来ていただくような事業が必要だと思うので、これからもよろしくお願いしたい。

会長／今、いただいた意見を次回のつどいに活かしていただきたい。

## (2) 平成25年度当初予算案について（報告）

〔西島教育主幹〕

資料2に基づき、図書館管理運営関係予算、県立図書館関連事業予算の内容及び前年度比較について説明。

当初予算案説明後、事務局から補足説明あり。

事務局／一点、補足説明をさせていただく。前回の協議会で話題となった新県立図書館の関係について、担当課である生涯学習文化財課に確認したところ、その関連予算については、平成25年度予算には計上していないとのことである。

現在の県立図書館3館を再編し、新しい図書館を熊谷に設置する方向で検討していることについては、前回の協議会でも話題になったが、9月に新聞報道されている。

その後の状況だが、昨年10月には県立久喜図書館の地元である久喜市など5市2町から、県立久喜図書館の存続を求める要望書が知事と教育委員会委員長あてに提出されたと聞いている。

教育局によると、これは久喜図書館だけの問題ではなく、県立図書館再編全体

にかかわるものであることから、現在、慎重に検討を進めており、まだ調整が必要な状況にあるとのことだった。そのため、冒頭に申し上げたとおり平成25年度当初予算には、新県立図書館に關係する経費を計上することはせず、引き続き検討を重ねていくというものである。

県立図書館の再編については、教育局で内部的な検討をまだ行っているところであり、基本的な構想が出来上がった折には、図書館協議会においてもきちんと御説明したいと担当課の方で申しているの、御理解のほどよろしく願いたい。

#### 【質疑】

会長／来年度の予算關係について説明をいただいた。引き続き、前回、話題になった新図書館關係の経緯について説明があった。順番が逆になるが、先に新図書館關係について質問があれば受けたいと思う。

今の説明では、構想まで至っていない。構想の前の段階ということで、具体的な内容を持っていない。具体的にしていくための予算も計上していないという段階であるということである。

我々は、新聞で見ただけなので、新図書館について1館体制という考えがあるということ、久喜図書館の統廃合、それについての反対論があるということぐらいしかわかっていない。実際、こうしたいという考え方は公式には何も出ていない。こういう状況だが、何かあれば質問をお願いしたい。

副会長／構想ができていないということで、質問のしようがない状況ではあるが、久喜図書館については、存続の要望がでていと聞いている。構想がはっきりしていないが、1館に集中するということで、他の図書館、例えば浦和図書館などがなくなった場合は、分館になるのか。計画ができていない状況ということだが、わかる範囲で伺いたい。他の館がなくなって熊谷1館で処理するのは、集中し過ぎかなと思う。資料保存は、可能だと思うがすべてがデジタル化させるわけではないと思うので、その辺についておわかりであればお聞きしたい。

事務局／今の御質問は、構想の具体的な内部に入っていくのかと思う。現時点では、そういったことも含めて検討中なので、私どもの方へ、具体的な話が来ている状況ではない。熊谷への1館化という方向については、新聞報道のとおり状況である。それ以上のことは、今の時点では、申し訳ないが把握していないので御容赦願いたい。

会長／これから、構想・計画・設計と話が出てくると思うが、それぞれの段階で協議会だけでなく、ユーザーの声に対してもいろいろな説明をきちんとお願いしたい。次は、予算全般について質問を伺いたい。

委員／県立図書館情報化推進事業が3,700万円増額ということで、現在のシステムを来年度の平成25年度まで動かすという形になると思うが、今回、再リース、移行という話である。基本的には、新システムを導入するというよりは、現行システムの移行という形をとるのか。

事務局／新しい図書館が建設される可能性もあり、見通しが立てば新しいシステムに変えていきたいと考えているが、そういう段階には至っていない。そのため、今のシステムを継続して数年間は使用していきたいと考えている。

委員／それまでは、延命というとおかしいが、機器の方を入れ替えるということですね。

会 長／3館全体での資料費が10数年ぶりにプラスということだが、ピークというか一番多かった時期はいつか。年々ずっと減り続けているのか。

事務局／資料費は平成8年度から減り続けている。平成3年度、4年度は4館で2億円を若干超えておりこの時期がピークである。徐々に下がり平成8年度に若干上回ったが、それ以降は17年ほど下がり続けている状況である。わずかだが今回は増加ということになった。

会 長／図書館では、資料費が一番大事である。協議会としても協力したいが、いろいろ工夫し知恵を絞って資料費を確保するようお願いしたい。

### (3) 久喜図書館における健康医療情報サービスについて（概要説明）

〔蓮見主任司書〕

資料3及び追加配布のチラシに基づき、プロジェクターを使用し、健康医療情報サービスの概要について説明

#### 【質疑】

委 員／いろいろ興味深く拝聴した。私もちょうど今、親の介護をしているところなのでありがたく聞いていた。まず資料3、2頁の「サービス対象」の項の想定対象だが、一般県民については、病人の方御本人の他に家族の方も対象に考えるべきではないかと思う。図書館を直接利用できるのは、病氣中の方ではなく家族の方というケースも多いと思う。本人が調査できない場合があるので、そういう対象も考えてもよいかと思う。引き続き考えたのは、埼玉県で提言しているウーマノミクスなどを踏まえ、いまだ女性が中心となっている介護関連の資料などについて、県庁のいろいろな部署と連携し、情報を発信していくことが大事ではないかということだ。また、再就職支援として看護師だけでなく病院内の人、介護した人へのハローワークのような情報もあるとよいかと思う。自分の体験を交えながら考えた。

次に4頁下の欄3サービス概要①(3)「書架見出し・掲示板」だが、どういった病氣の講演会があるのか、ポスターを貼っているだけではあまり目にされないことが多い。私は、博物館にいたが、キャプションを小さく付け展示するとお客様の目を引くので、少しだけ親切な心配りが大事なのではないかと思う。また、健康・医療情報については、ウェブサイト上でデータ化はされているということだが、データを見ることが出来ない人もいるので、パンフレット・ポスターなどは病氣別にファイルして1～2年分は開架すると、直接手にとって見ることができる。情報化社会とはいえ手に取って見るものというのは、価値がある。そういったことをしたら良いと思う。

最後に、図書館で、病氣の人、介護する家族、そういった方への就職支援情報がわかるということを広報する必要がある。私も自分でホームページを検索してやっとわかったことも多い。せっかく、とても心強い取組をしているので、もっと積極的に、例えば病院に図書館のパンフレットを置いてもらうなど、患者や家族など利用したい人にわかりやすい場所で広報をしたらよい。医師会などもあるので、ホームページに図書館へのリンクをしてもらえばこれからの利用が増えるのではないかと思う。

事務局／貴重なアドバイスをいただいたので、検討させていただき可能なことから実施

していきたいと思う。

会 長／健康・医療情報サービスというのは、最近特に注目され、ある意味最先端だと思ふ。

委 員／こういったことをやったら人がたくさん集まったとか、こういう書籍を借りている人が多いとか、サービスを受けた人の反応など、そういった情報を載せるとよいのではないかと思う。よくインターネットでは商品を試した人の効果などが載っているので、そうした人の声を載せると広報になると思う。

委 員／ウェブサイトでは、リンク集や医療相談窓口などかなりいろいろなサービスを行っているようだ。県の施設からでよいと思うが、逆に図書館へリンクを張っていただくこともお願いしたらいいと思う。県立の病院や県の医療関係の部署などへ、こういう情報もあるのだと情報提供したらよい。

会 長／先ほど、埼玉県では健康長寿関係の施策があると伺ったが、そういう施策へのリンクはどうか。

事務局／直接の形ではやっていない。例えば今回の講演会では、講演会の冠にそういう施策の名称を盛り込むという形でやっている。

会 長／県の施策にこういった形で貢献している、という何らかの PR が必要だと思う。せっかく大々的にやっているのだから、県の健康長寿関係の施策にリンクを張ってもらうなど大胆な考えが必要である。病院の図書館がどれ位あるかわからないが、がんセンターは図書館があったと思うので、ああいう所と関係ができればよいと思うがどうなっているか。

事務局／まず、連携を考えた時に、相互貸借という、図書の現物貸借が出来ていない状況である。がんセンターは今まで 1 回伺ったことがあるが、来年度敷地内で建て替えをして、12月に図書室も新しくなると聞いている。(平成25年12月新病院オープン予定) オープンまでにもう一度伺って、新しい図書館の方針や連携についての考え方をお聞きしたいと考えている。

会 長／みなさん、お帰りになったらぜひホームページを見ていただきたい。

#### (4) その他

##### ① iPad (アイパッド) と無線 LAN の利用状況について (報告)

事務局／前回の協議会で御質問いただいた iPad (アイパッド) と無線 LAN の利用状況について報告させていただきたい。前回の御指摘を受け、利用状況について把握できないか探ってみた。

サービス情報のログという通信の記録が残ることがわかった。それを何とか拾えるように準備を進めた。浦和では、昨年末、久喜では1月からようやく接続の記録が見られるようになった。無線 LAN の利用状況について 1 月の記録から、1日平均浦和が1.3人、久喜が14.6人の利用があると読めた。ただし、記録をとる設定等が難しいため職員も苦心した。今回は参考までに報告させてもらう。数字については修正が入るかもしれない。

次に iPad (アイパッド) の状況である。概ね今年度5月頃から利用者に提供している状況である。各館によって活用の仕方が違うのでその点は、御了承願いたい。この10ヶ月間で3館合計740件の利用があった。図書館の利用傾向と同様に、特に8月から10月にかけての夏場の利用が多かったと聞いている。以上、参考程度だが報告させていただく。

② 熊谷図書館展示解説について（報告）

事務局／前回の協議会の時に熊谷図書館の資料展展示解説について委員からアドバイスをいただいた。展示解説のチラシが大きめなので、持ち帰りが難しいのではとのことだったので、ミニ解説版を作成した。通常のライブ・レター（Lib, Letter）（調べ方案内）に加えて小さいものを作成したので参考までにお持ちした。

委員／これだとポケットにも入る。女性の小さいカバンにも入るので非常にいいと思う。

会長／意見や提言をするとすぐに対応していただけるので、皆さんもいろんな意見を出してほしい。

③ 久喜図書館障害者サービスで行っているデジタル図書DAISY（デイジー）について  
〔佐藤司書主幹〕

追加配布資料に基づき、DAISY専用再生機を使用し概要について説明

【質疑】

特になし

議事終了

8 閉会

〔久喜図書館 伊藤教育主幹〕

会議録署名

会 長 \_\_\_\_\_ 印

委 員 \_\_\_\_\_ 印

委 員 \_\_\_\_\_ 印